



平成 28 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 B-R サーティワン アイスクリーム 株式会社

代表者名 代表取締役社長 渡辺 裕明

(コード： 2268、東証 JASDAQ)

問合せ先 執行役員 管理本部 経営管理部長 肥沼 邦幸

(TEL 03-3449-0331)

平成 28 年 12 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 4 日付当社「平成 27 年 12 月期 決算短信 [日本基準] (非連結)」において発表いたしました平成 28 年 12 月期 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日) の第 2 四半期累計期間 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日) の業績予想と実績との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 平成 28 年 12 月期 第 2 四半期累計期間業績予想との差異について

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,800	△330	△340	△117	△12.14
今回実績 (B)	8,950	△200	△178	△89	△9.27
増減額 (B-A)	150	130	162	28	—
増減率	1.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績	8,570	△296	△260	△118	△12.32

2. 差異の発生理由

女子中高生やファミリー層を中心とした当社のヘビーユーザーに対し、魅力的なキャンペーンの実施や新商品発売および告知強化による来店促進を図ったことで来店客数が堅調に推移し、売上高が予想を 1 億 5 千万円上回りました。

粗利率は予想をわずかながら上回り、一般管理費は旅費交通費を筆頭に管理徹底によって計画以下に抑えることが出来たため、営業損失、経常損失および四半期純損失は当初予想よりも減少する結果となりました。

3. 今後の見通し

当社の事業は、下半期 (7 月～12 月) に売上及び利益の獲得比率が高くなる特徴があります。そこで、特に多くの利益を獲得することができる第 3 四半期には、前半の業績の動向を踏まえ、キャンペーンの実施強化と TVCM や SNS での告知充実でさらにヘビーユーザーの来店を促進し、さらに売上及び利益の向上を図ってまいります。

なお、通期業績につきましては現時点での予想の変更はございません。